

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	交通バリアフリー推進事業	所管	市民経済部 交通安全課
			TEL 2998-9140

事業の目的 (何の為に 行うか)	平成16年4月に公表した『所沢市交通バリアフリー基本構想』で示された特定事業の進捗状況を定期的に確認することにより、基本構想の適切な進行管理を行う。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	特定事業	対象とした数	153	件
		実際に 利用した数	136	件

活動の内容	(何を したか)	<p>○公共交通事業者をはじめとする特定事業者、学識経験者、市民等を委員とする所沢市交通バリアフリー推進協議会を年2回開催する。</p> <p>○協議会において、各特定事業者が所管する特定事業の実施状況等を報告することにより、バリアフリー化の進捗状況を確認する。</p> <p>○特定事業の進捗状況を市ホームページや市政情報センターで情報提供を行う。</p>							
活動実績	項目名	特定事業総数	153	項目名	継続中または実施済の特定事業数	136	項目名		単位
			----- 単位 件			----- 単位 件			----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	280	220	5,011	14.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	継続中または実施済の特定事業数	継続中または実施済の特定事業数 ÷ 特定事業総数	70.6	88.88888889	125.9
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	031000	TEL	2998-9140
事業コード	交通バリアフリー推進事業	担当部課	市民経済部 交通安全課			
031002		グループ	交通対策			
開始年度		平成 16 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市交通バリアフリー基本構想			高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律
	関連・類似事業	所沢市障害者計画			
	総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	4節 交通
		中柱	2 交通施設の整備	小柱	(3) 駅施設等の整備
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 15 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	ユニバーサルデザインの推進	コード		
	1311				
	事業開始の背景	急速に高齢化が進み、本格的な高齢社会を迎えるとともに、障害者が障害を持たない人と同じように社会に参加できるノーマライゼーションの考え方が広まっている。このような状況で、高齢者、身体障害者を含め、誰もが公共交通機関を使った移動をしやすくなるためのバリアフリーが求められるようになった。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	平成16年4月に公表した『所沢市交通バリアフリー基本構想』で示された特定事業の進捗状況を定期的に確認することにより、基本構想の適切な進行管理を行う。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	特定事業			実施中または実施済みの特定事業			
	対象数	単位	平成 18 年度	153	件	平成 18 年度	104
		平成 19 年度	153	件	平成 19 年度	136	件
	事業の具体的な内容及び実施方法						
	○公共交通事業者をはじめとする特定事業者、学識経験者、市民等を委員とする所沢市交通バリアフリー推進協議会を年2回開催する。 ○協議会において、各特定事業者が所管する特定事業の実施状況等を報告することにより、バリアフリー化の進捗状況を確認する。 ○特定事業の進捗状況を市ホームページや市政情報センターで情報提供を行う。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		22	280	280	
	決算(見込み含む)		22	220		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.65 人	5.980	0.51 人	4.791
	公債費					
	事業費合計		6,002	5,011		
	財源内訳	一般財源		6,002	5,011	280
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		17.8	14.8			
利用数一単位あたり(単位:円)		57,711.5	36,845.1			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	特定事業総数	件	153	153	153	153
		継続中または実施済の特定事業数	件	104	136	143	153
	成果分析	継続中または実施済の特定事業数	継続中または実施済の特定事業数 ÷ 特定事業総数	目標値	66	70.6	93.5
実績				68.0	88.9		
達成率				103.0	125.9		

実績値の拡大を図る1
実績値の縮小を図る2 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	平成18年12月に施行された新バリアフリー法(「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」)への対応について引き続き検討する必要があるが、当面は、所沢市交通バリアフリー基本構想における目標年次の平成22年度までは既存の特定事業について、進行管理を行っていく。				
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	所沢市交通バリアフリー推進協議会の開催	年2回 5月下旬(第8回)・11月中(第9回)	平成20年度	
		当事者・関係事業者によるバリアフリー点検事業	重点整備地区において実地点検を行うとともにその他の地区におけるバリアフリーの状況について意見交換を行う。その結果、個々の事業における適切な対応が期待できる。	平成20年度	
	平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	所沢市交通バリアフリー基本構想は平成22年を目標年次としているため、特定事業の進行管理を継続的に行っていく必要がある。また、新バリアフリー法は交通バリアフリーからユニバーサルデザインの視点が強くなったことから、今後の庁内体制の見直しを検討する必要がある。				
	評価日	平成20年5月20日	記入者職氏名	交通安全課長 糟谷 守	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	評価日				

優先度評価
 A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
 B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
 C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	271	311
	施策の体系	2-7環境に配慮したまちづくりの推進	2-7-1環境に配慮した都市整備・施設整備の推進		
		3-1地球温暖化の防止	3-1-1エコ・モビリティの推進		
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	3251	
	基本目標	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります			
主要課題	2子育てに快適な環境づくり				
施策の方向	5子育てバリアフリーの推進				